

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 飛散防止対策工		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱																		
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	金子 歩夢																		
作業名称	TNグレーチング飛散防止対策工	作業手順書	作成年月日	令和5年3月31日																		
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	黄バト、連絡車、発電機(1.6KVクラス)パルーンライト		現場責任者																			
使用工具 機器 (大きさや等とは具 体的な寸法を記す)	ブローア、インパクトドライバー グラインドサンダー、ハンマードリル		協力会社	会社名																		
保護具	安全靴、ヘルメット、安全チョッキ(点滅)、手袋、防護メガネ、防塵マスク、反射脚絆 耐切削用【ヨーロッパ規格EN388:2016 レベルF】		協力会社責任者	自筆サイン																		
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	普通自動車運転免許		<b>作業順序</b> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>準備作業</td></tr> <tr><td>2</td><td>工事車両進入</td></tr> <tr><td>3</td><td>グレーチング固定ボルトの確認</td></tr> <tr><td>4</td><td>集水ます枠清掃・防錆処理</td></tr> <tr><td>5</td><td>グレーチング取替</td></tr> <tr><td>6</td><td>飛散防止金具設置</td></tr> <tr><td>7</td><td>ベルト設置</td></tr> <tr><td>8</td><td>清掃・後片付け</td></tr> <tr><td>9</td><td>現場離脱</td></tr> </table>		1	準備作業	2	工事車両進入	3	グレーチング固定ボルトの確認	4	集水ます枠清掃・防錆処理	5	グレーチング取替	6	飛散防止金具設置	7	ベルト設置	8	清掃・後片付け	9	現場離脱
1	準備作業																					
2	工事車両進入																					
3	グレーチング固定ボルトの確認																					
4	集水ます枠清掃・防錆処理																					
5	グレーチング取替																					
6	飛散防止金具設置																					
7	ベルト設置																					
8	清掃・後片付け																					
9	現場離脱																					
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	ボルトの確認:1~2名、集水ます枠清掃・防錆処理:1~2名、グレーチング取替:1~2名、 飛散防止金具設置:1~2名、ベルト設置:1~2名																					
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和 年 月 日																			
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)																					

可 能 性	リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
		○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要	

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定(防止対策)	
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						
準備作業									
			健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。						
ミーティング	健康状態の確認	作業責任者(職長)が確認						体調不良の作業員は規制内へ入場させない	
	免許・資格等の確認	作業責任者(職長)が確認							
	KYMの実施	作業員全員で							
車両の点検・準備	車両の始業前点検、工具の確認	運転手、全員							
	積荷の確認	積荷の状態	走行の中荷崩れ、飛散養生。	○	×	○×	3	安	トラック積載状態を確認し、飛散対策で積荷を固定・ネット養生する。
工事車両進入	工事車両進入	指定の入口から	回転灯・逆走時ハザードの点灯、50km/h規制、プレート・通行券の確認、幕の設置、十分な照度の確保						
グレーチングボルトの確認	4つ角のボルトの確認	再設置が可能か目視や接触	再設置が可能ならば設置する。						
集水ますの清掃	枠の清掃	粉塵等が目に入る	人体の保護をしておらず目の炎症、失明する。	○	△	○△	2	安	防護メガネを着用する。
防錆処理	枠、グレーチングの防錆処理	スプレー缶が転がる	走行車に接触する	○	△	○△	2	安	腰袋を着用し、路面等に置かない方法をとる。
グレーチング撤去・設置	人力による撤去・設置	マス枠との接続	マス枠が錆膨張を起こしておりグレーチングが入らない。	○	△	○△	2	安	マス枠を少しケレンする。
飛散防止金具の設置	飛散防止チェーン、アイボルトの設置	ハンマードリルの使用	穴の大きさを間違えアンカーが効かない。	○	△	○△	2	品	アンカーの大きさと同径のサイズで削孔する。
アラミド繊維ベルト設置	ベルト設置	ベルト巻き込み時	グレーチングで手を挟む。	○	△	○△	2	安	グレーチングの中間部を持ちはさまない対策を行う。
アラミド繊維ベルト設置	ベルト設置	ベルト巻き込み時	二重巻きに設置していない	△	△	△△	3	品	責任者が二重巻きを行っているか確認する。
アラミド繊維ベルト設置	ベルト設置	ベルト巻き込み時	端部の解れ防止作業で手をカッターで切る	△	△	△△	3	安	メンテ指定の耐切削用手袋を着用する。
	積荷の確認	積荷の状態	走行の中荷崩れ、飛散養生。	○	×	○×	3	安	トラック積載状態を確認し、飛散対策で積荷を固定・ネット養生する。
通行券の確認	通行券の有無及び車両番号記載	各運転手と責任者で	通行券を紛失し、離脱時間の遅延が起り通行止め解除時間が遅れる。	○	×	○×	3	公	各車両の運転手と責任者で現場離脱前に通行券の有無と車両番号記載の確認をする。
現場離脱	工事車両退出	指定の出口で一旦停止	通過車両と接触する。	○	△	0	0	安	通過車両の通行がないのを確認後退出。
現場離脱									工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事